

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	にゃんぶキッズ	公表日	2024 年 12 月 9 日
------	---------	-----	-----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		毎年利用曜日を保護者様と検討し、各曜日ごとに人数をおさえている。また、定員を越える際はお休みをお願いしている。	適切になるように調整している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		利用者の人数に応じて職員数を配置している。	完全にシフト制にできるよう工夫が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		活動中、気が散らないように余計な情報を遮断するようにしている。 絵カード等こどもにわかりやすい配慮を実施している。	余計なものをすぐに片づけられるような環境設定が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・毎日掃除を実施。 ・適宜消毒を実施している。	玩具等の消毒の便利化をする必要がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		鍵がある個室がある。宿題等で集中したいときに使用している。	職員が常に一緒にいるべきか検討。 職員への声掛けが必要。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		可能な限り職員間で情報共有している。	時間確保が課題。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		毎年のアンケートで意向を確認。 年1回実施している。	事業所内での目安箱も設置検討。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		毎日ミーティングを設けている。 適宜実施している。	どのように改善すべかを職員全員で検討している。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		今後検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		毎月2回、必ず事業所内で研修している。外部でつけた研修を事業所内で共有している。	外部研修に参加できる時間を確保したい。 全員参加は難しいため記録を確認
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		毎週月曜日に一週間のプログラムを作成している。	保護者への公表はしていないので、SNSやホームページでの発信を検討。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	100%		支援計画を作成するにあたって保護者様と面談を実施している。	保護者様から送迎時や連絡帳にて聞き取りも行う。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		その利用者に関わる職員は認で支援計画を作成・検討している。 関わるスタッフ全員の意見をまとめて作成	
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		その利用者に関わる職員は認で支援計画を作成・検討している。 個人ファイルにて確認	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	88%	12%	アセスメント表を作成。日々ミーティングを実施。 利用の際の行動観察を実施。	標準化されたツールを作成。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・各領域ごとに職員間で話し合っている。	・曜日の垣根をこえてオンラインでの会議を検討する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		週に一度月曜午前に時間を設けている。 季節、行事含め検討・実施。	

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	88%	12%	週に一度月曜午前に時間を設けている。 季節、行事含め検討・実施。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	100%		利用者に関わる全ての職員で検討している。	ストレス等を配慮して支援をしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		必ずミーティングをしている。	時間の確保。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		必ずミーティングをしている。 時々通常とは違う流れになるとき予定が入るときは必ず打ち合わせをして確認している。	時間の確保。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		毎日その日のうちに記録を取っている。	時間の確保。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		定期的にモニタリングを実施している。	保護者様との時間の調整が難しい時がある。
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	100%		スタッフ間で共有して実施している。	
25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		利用者に活動内容やルールなどを感かせる機会を設けている。 子どもの意見をきく機会を意図的に作っている。	自分の意見を言えない人への対応。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		管理者、サビ管が出席し、必要に応じて他職員も参加している。	他職員が参加するための時間の確保。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	77%	23%	電話やメール等を利用して連携している。	連絡の頻度を検討。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	23%	77%	今のところ機会がない。	今後検討。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	23%	77%	今のところ機会がない。	今後検討。 改善する必要がある。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		定期的に面談を行い、送り迎え時にお伝えをしている。	管理者が基本行っており、他職員と話せる時間を確保することが難しい。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12%	88%	玄関に研修案内のパンフレットを貼っている。	研修案内が少ないかもしれない。 保護者向け研修を実施する必要がある。
	32	【 児発事業所・児発センターのみ 】併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		できる範囲での情報共有を行っている。	他機関との深い連携、情報共有が必要だと感じている。
	33	【 児発事業所・児発センターのみ 】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		保護者様とは面談を行い、小学校とは連絡がとれた場合行っている。	機会があれば実施していく。
	34	【 児発センターのみ 】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【 児発センターのみ 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	【 児発センターのみ 】（自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	【 放デイのみ 】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		保育所等訪問支援や電話などで連絡をとっている。	こまめな連絡が必要。
38	【 放デイのみ 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		必要に応じて連絡している。 保護者を介して実施することが多い。	こまめな連絡が必要。	

	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		これまで機会がない。	機会があれば提供。
	40	【放デイのみ】 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	100%		過去一度だけ参加。	より頻度をあげて参加
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時に説明している。	利用開始後も必要に応じて説明する。
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		半年ごとに面談をこない、保護者様の意向や困りごとを確認している。	今後も引き続き継続していく。
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		半年に一度実施している。	必要に応じて対応する。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		定期的に面談をこない、保護者様の意向や困りごとを確認している。	今後も引き続き継続していく。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		100%	これまでは実施してこなかった。	今後検討していく。 年一回でもじっししたい曜日等の調整が難しい。
	46	子どもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		契約時に説明するようにしている。 すぐに対応している。	利用開始後も必要に応じて説明する。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	23%	77%	これまでは積極的に実施してこなかった。	今後、SNSを利用していく。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		鍵の施錠、職員との秘密保持契約、事業所外への持ち出し禁止を徹底している。	今後も継続していく。
	49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		オノマトベを実施。	職員全員で共有していく。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%	これまでは機会がなかった。	今後機会があれば実施していく。
非常時等の対応	51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		定期的に面談を行い、保護者様の困りごととどうに対応している。	今後も継続していく。
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		マニュアルを作成し、定期的に職員間で研修している。	時間の確保。
	53	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		マニュアルを作成し、定期的に職員間で研修している。	時間の確保。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		マニュアルを作成し、定期的に職員間で研修している。	時間の確保。
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		医師の指示はないが、職員間でアレルギーを共有している。	おやつ時に注意。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		定期的に事業内で研修を実施している。	時間の確保。
	57	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		定期的に事業内で研修を実施している。	時間の確保。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		案件があれば必ず作成し、職員間で共有している。	今後も継続していく。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		定期的に事業内で研修を実施している。	時間の確保。 外部の研修に積極的に参加していく。

60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		定期的に事業内で研修を実施している。	時間の確保。 外部の研修に積極的に参加していく。
----	--	------	--	--------------------	-----------------------------